## （５）　く　　り

| 防除法<br>病害虫名 | 防除のポイント | 薬剤防除 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 防除時期 | RACコード | 薬剤 |
| 1 胴枯病<br>*Cryphonectria perasitica* | 1.幹枝に傷を付けない。また、凍傷を受けないようにする。<br>2.苗木は高接ぎ苗を用い、凍害にかからないようにする。 | 病患部<br>削り取り直後<br>（塗布） | 1 | トップジンＭペースト |
| 2 炭疽病（実炭疽病）<br>*Colletotrichum gloeosporioides* | 1.樹の採光や風通しを良好にする。<br><br>**〈薬剤使用の特記事項〉**<br>1.ドイツボルドーＡは、薬害防止のため炭酸カルシウム(クレフノン等）を加用する。収穫間際は汚れに注意する。 | ７～８月 | 1<br>1<br>M1<br>M7 | ベンレート水和剤<br>トップジンＭ水和剤<br>ドイツボルドーＡ<br>ベルクートフロアブル |
| 3 カミキリムシ類<br>シロスジカミキリ<br>ミヤマカミキリ<br>キボシカミキリ | 1.５月～７月下旬の成虫発生期に捕殺する。<br>2.産卵期からふ化時に園内を見回り、卵、幼虫を刺殺する。 | | | |
| 4 コウモリガ | 1.若齢幼虫のいる下草類を除く。<br>2.被害枝を切り取る。<br>3.針金等で刺殺する。<br>4.イタドリ、ワラビ、ヨモギ、カヤは早期に刈り取る。 | ６～９月 | 1B | ガットサイドＳ |
| 5 キクイムシ類 | 1.クリ園に雑木の株やせん定枝を置かないようにする。<br>2.被害木は早く掘り取り、処分する。<br>3.クリ園を常に清潔にする。<br><br>**〈薬剤使用の特記事項〉**<br>1.食入並びに産卵防止を図る。 | ３～５月<br>（産卵初期） | 1B | ガットサイドＳ |
| 6 クスサン | 1.９月、10月の成虫発生期に誘殺する。<br>2.冬期に卵塊を取り、処分する。<br>3.６月～８月に繭を取り、処分する。 | | | |
| 7 モモノゴマダラノメイガ | 1.園内のイガを早く取り除く。<br>2.冬期園内を清掃し、イガを残さないようにする。<br>3.周囲のスモモ、モモ園等の被害果をできるだけ処分する。<br><br>**〈薬剤使用の特記事項〉**<br>1.スミチオン水和剤４０を散布すると、樹勢の弱っている若葉や極早生種では薬害が出る場合があるので注意する。 | ６月下旬<br>～９月上旬 | 1B<br>1B<br>5<br>14 | スミチオン水和剤４０<br>トクチオン乳剤<br>ディアナＷＤＧ<br>パダンＳＧ水溶剤 |
| 8 クリシギゾウムシ | 1.被害果を除去し、処分する。<br><br>**〈薬剤使用の特記事項〉**<br>1.アグロスリン水和剤、マブリック水和剤２０は裂果前に使用する。 | ６月下旬<br>～９月上旬 | 3A<br>3A<br>3A<br>3A･1B | アディオン乳剤<br>アグロスリン水和剤<br>マブリック水和剤２０<br>（混）パーマチオン水和剤 |
| 9 クリミガ | 1.被害果を除去し、処分する。 | | | |
| 10 ネスジキノカワガ | 1.被害毬、枯死枝は速やかに集めて処分する。 | ６月下旬<br>～９月上旬<br>（２週間間隔で<br>３回散布） | 1B<br>14 | トクチオン乳剤<br>パダンＳＧ水溶剤 |

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

くり

| 防除法<br>病害虫名 | 防除のポイント | 薬剤防除 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 防除時期 | RACコード | 薬剤 |
| 11 クリタマバチ | 1.被害の著しい樹は6月上旬までに伐採処分する。<br>2.被害の少ない樹は、虫えいのある部分の枝を切り取り、処分する。<br><br>**〈薬剤使用の特記事項〉**<br>1.アグロスリン水和剤、マブリック水和剤２０は羽化脱出期に使用する。<br>2.成虫発生期には、２回程度散布する。 | 発芽前<br>(３月下旬頃)<br>成虫発生期<br>(6月下旬<br>～7月上旬) | 3A<br>3A<br>3A | アディオン乳剤<br>アグロスリン水和剤<br>マブリック水和剤２０ |
| 12 クリイガアブラムシ | 1.通風をよくする。<br>2.被害の多いときは、空イガを処分する。<br><br>**〈薬剤使用の特記事項〉**<br>1.萌芽期には絶対散布しない。<br>2.前年被害が発生した園では２回散布する。 | 萌芽前<br>(３月下旬)<br>第3世代幼虫<br>発生期<br>(6月下旬<br>～7月下旬) | 1B<br>3A<br>4A<br>3A･1B | エルサン乳剤<br>マブリック水和剤２０<br>アドマイヤー水和剤<br>(混)パーマチオン水和剤 |
| 13 カイガラムシ類 | 1.冬期にワラ、タワシなどでカイガラムシをこすり落とす。<br>**〈薬剤使用の特記事項〉**<br>1.アプロード水和剤はカイガラムシ類幼虫に登録がある。 | 休眠期<br>(１２月) | UNM<br>UNM | 機械油乳剤９５<br>トモノール |
| | | 若齢幼虫期 | 16 | アプロード水和剤 |